

別記様式（第4条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 千種生活圏の拠点づくり検討委員会	
開 催 日 時	平成29年9月6日（水）15時00分～16時30分	
開 催 場 所	センターちくさ 4階大ホール	
議長（委員長・会長） 氏 名	船曳順市	
委 員 氏 名	（出席者） 船曳順市、亀井欣也、藤原隆、森井俊二、鳥居薫、 波多野好則、猶原一典、金本まみ、金本己世始、 鳥羽敏美、清水一女、杉本千里、井岡陽子	（欠席者） なし
事 務 氏 名	宍粟市 企画総務部：坂根部長、上長次長 千種市民局：幸福局長、清水副局長、村上副課長 地域創生課：山本課長、原係長、前田主査	
傍 聴 人 数	1名	
会議の公開・非公開の 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開	（非公開の理由）
決 定 事 項	（議題及び決定事項） 1 開 会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) 前回協議の確認について (2) 他の地域での取組事例について (3) 「千種生活圏の拠点づくり」の進め方について ・ 概ねのスケジュールについて ・ 検討委員会の体制について (4) 委員会における協議状況の周知について 4 そ の 他 5 閉 会 ■ 次回開催予定 平成29年10月3日(火) 午後6時から	
会 議 経 過	別紙のとおり	
会 議 資 料 等	別紙のとおり	
議 事 録 の 確 認 (記名押印)	(委員長等) <div style="text-align: right;">⑩</div>	

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容
委員長	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>皆さん、おつかれさまです。</p> <p>だんだんと秋らしくなり、稲刈りも始まりました。本日は前回ご欠席であった子育て世代の委員にもご参加いただき、会場にもお子さんの姿が見えますが、こういった中でより現実的な議論が出来るのではないかと思います。</p> <p>前は「この会議で何を言ったら良いのか？」と思われた委員も多かったと思いますが、“小さな拠点づくり”という事で、まさに今日、会場に見えるような子ども達の将来を思い描きながら、会議を進めて行きたいと思えます。</p> <p>今日は前回の会議のあらましを振り返ったあと、今後、この会議をどのように進めていくか、という事に主眼をおいて議論を深めて行きたいと思えます。有意義な会合となりますよう、ご協力をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 事務局より資料の確認▶ 杉本委員、井岡委員 自己紹介 <p>3 協議事項</p> <p>(1) 前回協議の確認について</p> <ul style="list-style-type: none">▶ 事務局より第1回会議録の説明▶ 会議録7ページ 発言者欄 最上段の「事務局」を「委員」へ訂正
委員長	<p>事務局より説明がありました。前回の協議内容について追加や修正、その他の意見はありますか。</p> <p>— 意見なし —</p> <p>それでは議事を進めます。</p>
事務局	<p>(2) 他の地域での取組事例について</p> <p>前回の会議でも、この会議で議論する“生活圏の拠点づくり”という事について、まずは委員全員での共通理解を深めましょうというお話があったと思えます。そのきっかけとして、本日は島根県が作成されている“小さな拠点づくり”に関する映像をご覧いただければと思えます。</p>

<p>委員長</p>	<p>比較的小さな集落での事例が出てきますが、これをそのまま真似するのではなく、今後は千種独自の方策を検討していく事になると思います。あくまでも、一つの参考としてご覧頂ければと思います。</p> <p>➤ 島根県作成による映像資料『中山間地域で安心して暮らし続けていくために ～始まっています。小さな拠点づくり～』の上映</p> <p>(3) 「千種生活圏の拠点づくり」の進め方について</p> <p>島根県での取組事例を見ていただきました。このような事も視野に入れながら、検討していくという事でご理解頂ければと思います。島根県は全国で最も早く高齢化が進んだ地域である一方、近年、最も多く地域外からの移住者を受け入れている県だそうです。そういった意味で進んだ地域だと思います。</p> <p>そのような事も踏まえて今後、議論を進めて頂く訳ですが、私としてはこの会に少しでも多くの皆様のご意見を取り入れて行きたいと考えています。例えば小・中・高校生のお子さんをお持ちの親御さんや、まちづくり推進委員会のメンバーなどに、この委員会に加わって頂く事も考えられますが、如何でしょうか。</p>
<p>企画総務部長</p>	<p>今、委員長の方から、より多くの皆様のご意見を取入れて行きたいというご提案がございました。現在、この委員会は13人の体制でスタートをさせて頂いた訳ですが、事務局としてはこの人数に拘るものではありません。市としても出来るだけ沢山の人の意見を伺いたいと考えておりますので、その方向で調整をさせて頂ければと思います。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは事務局とも相談させて頂いて、次回からそのような方向で進めさせて頂ければと思います。</p> <p>これまでの所を踏まえて、ご意見をお聞かせ頂ければと思いますが如何でしょうか。</p>
<p>委員</p>	<p>私は子育て世代を代表して参加していますが、小中学生の状況や学校のこととは良く分からないので、是非、そういった親御さんのご意見も伺いたいと思います。</p> <p>子どもの事に関しては、引っ越してきて一番困ったのは、近くに小児科・耳鼻科がない事です。買い物とか遊びは車があるので、ある程度出かけて行けますが、子どもの病気は一刻を争う事もあるので、やはり専門の先生に診て頂けると安心です。</p>

	<p>また、例えば高校なども、自分の娘がどこに行くのか考えた場合、通える範囲は限られてくると思います。寮に入れば通えると思いますが、親としては近くに居て欲しい気持ちもあります。</p> <p>そうなると交通の便が課題となりますが、その事は高齢者の皆さんにとっても同じだと思います。将来的には千種高校が無くなるかも知れないというお話も聞きます。これからの子ども達は、いろんな人と関わって、大人数の仲で成長していくことも大切だと思いますので、その為の取組を今から地域を挙げて進めて行ければと思います。また、その事は若者の I ターンや U ターンにも繋がると思います。</p> <p>あと希望としては、習い事などもピアノや英語、体を動かす活動など、幅広い選択肢から選べるようになれば良いと思います。例えば外から先生を呼んで、いろんな経験が積めるようになればありがたいです。今は姫路の幼児教室に通っていますが、やはり通うのは大変です。ただ、幼少期の吸収力はすごいので、この時期の体験は本当に大切だと思います。</p> <p>また、現状では子どもを保育所預けても、すぐに発熱で呼び出しがあったりして、お母さん達もなかなか外に働きに行けない状況があります。例えばこれから作っていくセンターの中で、貸し出し用の部屋をつくってもらって、ママさん同士が助けあったり、教えあったり出来る場所があれば良いと思います。</p> <p>千種は買い物、交通の便が整えば、凄く住みやすいまちだと思います。これから大きくなる子ども達が、世界に羽ばたいて行けるように、何かしてあげられればと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。実感に迫るお話だと思います。私も孫が小さい時に、夜中の 12 時を過ぎてから、姫路の救急病院へ連れて行ったことがあります。現状では千種の中には小児科や耳鼻科がありませんので、実感として良く分かります。この事は拠点づくりの中だけでは解決出来ないかもしれませんが、ご意見としては大いに参考にして行きたいと思います。</p>
委員	<p>私は一宮に住んでいますが、小中学生の子どもが居ますので、先ほどのお話を聞いて、どこも町も同じような課題を抱えていると思いました。本当に身近な所に多くの課題がありますが、今からの議論の中で課題、夢、話題を出していくために、ワークショップのような形で一人ひとりが書き出してみようという作業も必要では無いかと思います。</p> <p>話すだけだと時間も掛かりますし、書く事によってアイデアが整理出来たり、話が苦手な方も意見を出し易くなったりする事があると思います。</p> <p>また先ほどの映像は小さな集落の事例でしたが、ワンストップサービスの</p>

委員長	<p>事例という事で、まさに社会福祉協議会の取組にも通じるものがあると思います。今後も適宜、議論のネタになるような取組をご紹介頂きながら、計画的に議論を進めて行ければと思います。</p> <p>今のご意見に関連して、事務局では会議の記録を議事録としてまとめて頂くことも大切ですが、これまでに出了意見や今後出てくる意見を一覧で見られるように、まとめて整理してください。</p>
事務局	<p>承知しました。</p>
委員	<p>千種は山間地ですのである程度、不便なのは仕方ないとして、良い面も沢山あると思います。例えば診療所には小児科はありませんが、待たずに診てもらえるというメリットがあります。総合病院なら半日から丸一日係る場合もあります。おじいちゃんがケガした時には時間外でも診てもらった事もあります。</p> <p>また、子ども園も大変ありがたい施設だと思います。山崎では保育園の園外保育の際に、二人の先生が沢山の子どもさんを連れて移動している場面を見たりしますが、千種の子ども園では子ども一人あたりの先生の数が手厚く、充実していると思います。</p> <p>図書館も便利で、読みたい本が直ぐに借りられます。都会では直木賞や芥川賞受賞作品など、2年ぐらい待たないと借りられない場合がありますが、千種では直ぐに取り寄せてもらえます。</p> <p>水がおいしい事も地域の魅力だと思います。水は暮らしていく上で最も大切なものだと思いますので、都会からも汲みに来る人がいる水は地域の自慢だと思います。</p> <p>英語やピアノも習うことが出来ます。現在、高齢者大学で童謡コーラスに参加していますが、お母さん世代や子ども達など、3世代で楽しめるようになればより良いと思います。先ほどの事例は高齢者の方の話題が沢山ありましたが、50年先を考えるならば「田舎だから田舎を参考にする。」というだけでなく。夢のあるような取組、「千種に行ったら凄いものが見られる。」というような施設が出来れば良いと思います。</p>
委員	<p>先ほどの事例に関しては、どこも同じような課題を抱えていて、なかなか抜け出せない状況があるんだなという印象を受けました。成功事例を真似すれば良いというものではないですし、大きな変化というよりも、少しずつ、じわじわと変えていく取組が必要なのかも知れないと思いました。</p> <p>また、郵便局のお話をしますと、何とか地域での雇用を維持出来るよう取</p>

	<p>り組んではいますが、やはり人口減少や少子高齢化の影響で社員数は減少傾向にあります。</p> <p>例えば和歌山県の飛び地の北山村では、村がコンビニを運営して、郵便局が宅配を行っているような事例もあります。地域で仕事を生み出すために、また地域の生活を維持していくためにも、新しい取組を事業として発信していく事が大切だと思います。10月からは郵便局でも電話を使った見守りサービスが始まります。</p> <p>元々、この会議に参加する時には、単純に市民局の建替えに関する議論が主になると考えていましたが、実際には将来の地域運営を見据えた議論という事で、様々な意見が出されるのは良い事だと思います。ただ、出た意見はしっかり反映してもらいたいと思います。市の方で何らかの形で残してもらって、前回の会議でもありましたが、意見だけ聴いて結局業者が作ってしまったという事にならないようお願いしたいと思います。予算的な事もあると思いますが、平成17年の合併以降、やはり旧4町間の格差も感じます。地域が小さいから予算を削るというのではなく、千種の皆さんの意見もしっかりと市の中に取り入れて頂ければと思います。</p> <p>皆さんの意見はしっかりと責任をもって反映したいと思います。それがどこまで実現できるかという点については限界もあるかとは思いますが、これだけの方々に集まってもらって話し合いを持つ以上、市の方にもしっかりと受止めて頂きますので、その事は自信と確信を持って、夢や希望を話して頂きたいと思います。</p>
委員長	
委員	<p>会議の進め方として、個々に意見を言い合うと前回と同じ意見になると思います。そしてまた次回も同じ事の繰り返しという事で、なかなか進展が無いと思います。</p> <p>自治会など幅広く意見を聴く事も大事ですが、既に一宮の「生活圏の拠点づくりの考え方」が示されているので、これをベースにしてはどうかと思います。これの良い所は取入れる、悪いところは改善するという事で、たたき台として活用すれば良いと思います。</p>
委員	<p>今回の会議でも「今日のテーマこれ」といった指定はありませんので、子育ての話や高齢者や主婦の皆さんなど、それぞれの立場で意見が出されるのは良いことだと思います。</p> <p>一方、自治会の役員会でこの話をするとしても、広報を配って書かれている事を説明するぐらいで、意見を聴くところまではなかなか行きませんので、出来れば無作為にアンケートをして頂いて、その意見集約も行って欲しいと</p>

	<p>思います。</p> <p>私たちが意見を述べても同じことの繰り返しになる事も考えられますので、より幅広く意見を聴くことが出来れば素晴らしいアイデアも出てくるのではないかと思います。</p> <p>先ほど島根県の事例を見させて頂きましたが、千種でも近い将来起こり得る状況だと思います。それぞれの立場で皆さんの思われる、「こういった事ができたらいいな。」という意見を取りまとめて頂ければと思います。</p> <p>毎回の議論の中で「今日はここまで進んだ。」というような整理は難しいわけですが、回数を重ねる毎に新しい意見を足していきながら、最終的にまとめることが大切だと思います。似たような意見が沢山出るかも知れませんが、議論が深まると、少しずつ意見も変わってくると思いますので、それぞれの立場でお話を聞かせて頂ければと思います。</p>
委員長	
委員	<p>皆さんのご意見の中でいろんなことが求められると思いますが、災害に強い施設という視点も大切だと思います。山や川が近くにあって、場所的にいろいろなリスクもあると思いますので、まずは災害に強い事を基本として、いろんな機能を盛り込んで頂ければと思います。</p>
委員	<p>前回の会議後、この委員会について地域の中で話したとき、地域の皆さんはまだ、「生活圏の拠点づくり」を自分の事としては捉えられていないようでした。委員 13 人の議論だけでは千種全体に広がって行かないので、もっと周知する方法を考える必要があると思います。アンケートを取るのも一つの方法だと思います。いろんな方法で「千種のまちを良くしていくために、みんなで考えて、みんなで作ろうな。」という意気込みを伝えて欲しいと思います。</p> <p>また、子育て環境に関しては、昔の千種の子育て環境は非常に良かったと思います。診療所は外科と内科の先生だけでしたが、専門以外のことで連れていっても一生懸命本や電話で調べて頂いたりして、ありがたかった思い出があります。</p> <p>習い事もピアノや英語、習字など、子どもが「習いたい」と言えば、大概のものはあったと思います。今もそういった取組をされている方もありますので、まちづくり推進委員会が発行している「ええとこ通信」や「ええとこセンター」などを活用して頂きながら、今のお母さん達とも情報を共有できればと思います。</p>
委員	<p>消防団の立場からの意見ですが、まず第 1 に庁舎として確実な避難所機能を備えて頂きたいと思います。宿泊や炊出しの機能も重要です。今の小学校</p>

委員	<p>では出水の際には非難できないので、確実に非難できる場所として確保して頂きたいと思います。</p> <p>また、センターは第 2 機動分団の車庫も兼ねていますので、新たな拠点の位置としてはこの場所で確保して頂けるようお願いしたいと思います。</p> <p>また、以前はこのホールで青年祭の催しが開かれていたりしました。規模の大きなイベントや、5~6 人のサークルでの普段使いなど、いろんな用途に使えるホールを備えて欲しいと思います。</p> <p>他にも要望は出てくると思いますが、差し当たり消防団としての意見として述べさせて頂きました。</p> <p>前回の会議後、市民局の建替えの話を他所でした時に「それだったら支店に入れて欲しい。」と言われた方がありました。もしかしたら、そういう意見の方もあるかも知れないので、もっと早くにいろんな人に情報を提供すべきじゃないかと思いました。</p> <p>また、先ほどの子育ての話聞いても、やはり千種は市内でも一番奥にあり、人数も少なく、雪も多いなど不利な条件にあると思います。働くところも少なく若者が定着できない状況もあると思いますので、何か「千種に住むと良いことがある。」というような事を考えて欲しいと思います。例えば水道料金や給食費など、何かしら特化してもらえれば、若い人達の定住化にも繋がると思います。</p>
委員	<p>千種はせっかくコンパクトなまちですが、世代間の交流はあまり盛んではないと思います。近所で歩いていて道で出会うことはあっても、子ども達とおじいちゃんおばあちゃん世代が、自然と繋がれるような場所はないので、そういう場があると良いと思います。</p> <p>先日、西脇のニフレルという施設に行きましたが、高校生が勉強していたり、子ども達が遊んでいたりと、おじいちゃんおばあちゃんが図書館で本を読んでいたりと、開かれた空間の中で世代間の交流が生まれていて、良いなと思いました。新しい拠点施設もそんな場所になれば良いと思います。</p>
委員長	<p>千種は昔から一村一町としてコンパクトに発展してきた経緯があり、他の町域と比べても、まとまり易い地域性があると思います。そんな地域性を活かしながら、千種だから出来る拠点づくりを考えて行ければと思います。</p> <p>他にご意見はございませんか。</p>
企画総務部長	<p>ただ今、様々なご意見を頂きました。中には施設が出来た後の運用のヒントになるような話も聞かせて頂いたと思います。例えば習い事や学習環境づ</p>

	<p>くりについては、現在、ここの一階にある生涯学習事務局がその一端を担っているわけですが、将来的にはその利用団体や子育て団体の皆さんが、それぞれに企画をされて、その実践の場として市民協働センターを位置づけるという事もあるのかなと思いました。そんな新しいやり方のヒントを頂いたように思います。</p> <p>次に「千種生活圏の拠点づくり全体スケジュール検討資料」について、ご説明させて頂きたいと思えます。前回の会議資料では、3月までの間に計6回程度の委員会で一定の考え方をまとめて行きたいというご提案をさせて頂きましたが、それでは難しいのではないかとのご意見を頂いた所です。</p> <p>その点について正副委員長ともご相談させて頂き、修正した案でご提案をさせて頂きたいと思えます。内容としては少し協議の期間を延ばして、来年6月を目途に先ほどご議論頂いたような、千種生活圏の将来像についての考え方を整理して行ければと考えております。その後、具体的な施設整備のお話へと議論を進めて行きたいと考えております。</p> <p>その下に記載しております、施設整備の所用期間につきましては、少しでも有利な財源措置を行う観点から、平成33年の3月を目標にさせて頂きたいと思えます。</p> <p>そういった形で回数には拘らず、差し当たり来年6月を目途に議論を深めて頂ければと思えますので、よろしくお願ひします。</p> <p>ただ今、企画総務部長からスケジュール案の説明がありました。荒々の目標期間は設ける訳ですが、来月や再来月に何かまとめようという話ではありません。ゆっくりと意見を出し合いながら、まとめて行きたいと思えますので、よろしくお願ひします。</p> <p>(4) 委員会における協議状況の周知について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 事務局より委員会広報チラシ「千種生活圏の拠点づくり検討委員会便り」の説明 <p>この広報チラシと合わせて、先ほどお話のありました広くご意見を伺うためのアンケート用紙についても、次回の広報誌と一緒に配布させて頂きたいと思えますが、よろしいでしょうか。</p> <p>— 一同了承 —</p> <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 次回開催予定 10月3日(火) 午後6時から
--	--

副委員長	<p>5 閉 会</p> <p>先ほどお話のあった習い事に関しては、生涯学習事務所でも企画して取り組んで頂いていたり、映像で見たような事例については社会福祉協議会がそれに近い取組を進めていただいたりしています。また、まちづくりに関してはまちづくり推進委員会で活発に取り組んで頂いていますので、そういった実践を行われている皆さんからお話を伺う機会も設けて頂ければ、話が進むのではないかと思います。</p> <p>また今回は子育て世代の皆さんにもお越しいただいて、新しい視点でのご意見を頂けたことは大変良かったと思います。今回は前回に比べて着実に話が進んだと思います。次回はさらに踏み込んだ議論となりますようご協力の程、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>本日は誠にありがとうございました。</p>
------	---